

【感染症ニュース】 コロナ患者報告数 3 週連続増加 咽頭痛なしでも油断は禁物 頭痛・発熱・咳だけのケースも…

9/9 感染症予防接種ナビ

厚生労働省が 9 月 8 日に発表した 2023 年第 35 週 (8/28-9/3) の「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の発生状況等について」によると、全国の定点当たり報告数は 20.50。前週の 19.07 から約 1.4 ポイントの増え、3 週連続の増加となりました。患者報告は、東日本から、多くあがっています。特に、東北地方では、宮城県 (32.54)、岩手県 (35.24)、秋田県 (30.61) など、高い値となっています。また、東京都 (17.01)、愛知県 (24.70)、大阪府 (14.35) と大都市圏でも増加傾向にあります

国内では、XBB 系統の株から、EG.5 系統の株への置き換わりが進んでいることも、感染者増の一因とみられています。新型コロナウイルス感染症患者の診察にあたる医師に、お話を伺いました。

◆ 感染症の専門医は…

感染症の専門医で、大阪府済生会中津病院の安井良則医師は「新型コロナウイルス感染症の報告数が増えています。新たな、変異株 EG.5 への置き換わりが進んでいることも、感染者数増加の一因と考えています。EG.5 が流行し始めてからも、症状の特徴は「咽頭痛」で、一般的なオミクロン株の症状とあまり変わりません。一方で、注意して頂きたいのが、咽頭痛を発症しない場合もあることです。新型コロナに罹患した職場の医師に話を聞いたところ、頭痛・発熱・咳はあったが、咽頭痛は無かったと言うケースもありました。咽頭痛が無いからと言って、新型コロナではないと断定はできません。身体に不調を感じる事があれば、すぐに検査をすべきです。2023 年 9 月から接種が開始される XBB 対応ワクチンですが、EG.5 は、オミクロンの派生株であるため、効果は期待できます。余談ですが、久しぶりに風邪気味で、咽頭痛の症状があり、勤務先で即検査しましたが、陰性でした。週末を挟んでいたため、3 日後に、2 回目の検査もしましたが、陰性でした。体調不良を感じた方は、検査を受けて、感染を広げないよう気をつけてください。大阪府では、新型コロナだけでなく、アデノウイルス感染症の流行や、ヒトメタニューモウイルス感染症の診断が出たケースも耳にします。様々な感染症が流行しており、注意が必要です」としています。

◆ 流行株はオミクロン株の新たな派生型「エリス」が主流に

また、国立感染症研究所感染症疫学センターが発表した 2023 年第 33 週 (8/14-20) の「新型コロナウイルス感染症サーベイランス週報」によると、現在流行している変異株の 97% は XBB 系統で、その中でも「エリス」と呼ばれている EG.5.1.1 が 14.5%、EG.5.1 が 12% を占めています。今後はこのエリスが主流となり、第 36 週 (9/4-10) には 57% を占めると予測しています。

◆ 9 月 20 日から全国で「令和 5 年秋開始接種」が開始

流行の拡大が心配される中、9 月 20 日から新型コロナワクチン「令和 5 年秋開始接種」の接種が始まります。接種の対象者は初回接種を終了した、生後 6 か月以上のすべての方です。使用されるワクチンはオミクロン株 (XBB.1.5) に対応した 1 価ワクチン (XBB 対応ワクチン) になります。詳しくは市町村から案内があるので、それをご確認ください。特例臨時接種として自己負担なしで受けられます。

引用

厚生労働省：「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生状況等について」2023年第35週(8/28-9/3)、新型コロナワクチンQ&A

国立感染症研究所感染症疫学センター：「新型コロナウイルス感染症サーベイランス週報」2023年第33週(8/14-20)

取材

大阪府済生会中津病院感染管理室室長 安井良則氏